

別記参考様式第2号

滋 森 保 第 195 号
平成26年(2014年)3月25日

農林水産大臣
林 芳正 様

滋賀県知事 嘉田由紀子

農山漁村地域整備計画(変更)の提出

農山漁村地域整備交付金実施要綱第3の3の(1)の規定により、別紙のとおり
農山漁村地域整備計画(変更)を提出します。

農山漁村地域整備計画 平成26年 3月 25日

計 画 の 概 要	計画の名称	琵琶湖と人々の暮らしを支える森林整備計画				
	計画策定主体	滋賀県				
	対象市町村	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町（19市町）				
	計画の期間	平成22年度～平成26年度（5ヶ年間）				
	計画の目標	<p>滋賀県の森林は県土面積の約2分の1を占め、水源涵養や県土の保全をはじめ二酸化炭素の吸収源など多面的機能を有し、県民の暮らしになくてはならないものです。</p> <p>しかし、長引く木材価格の低迷や不在村所有者の増加などから、農・漁業用水などの水源地域において適切に手入れが行われない森林が目立つようになっています。一方、人工林が成熟し10年後には10歳級以上の人工林面積が現在の1.7倍に達するなど、今後木材資源が飛躍的に増加する見込みです。</p> <p>そのために、森林の多面的機能を十全に發揮させるような森林整備に努め、人工林では環境に配慮しながら木材資源の循環利用を目指し地域の実情に応じた効率的・効果的な森林整備を推進します。</p>				
	定量的指標	<ul style="list-style-type: none"> 保安林内の保安施設整備割合 57%から61% 除間伐等を必要とする人工林に対する整備割合 65%から80% 県産材の素材生産量 32,000m³から59,000m³ 				
	①対象事業	(千円)				
	事業名	地区名	事業実施主体	工 期	総事業費	主な事業内容等
	森林整備事業	滋賀県内	市町 森林組合等	H22～H26	922,000	流域育成林整備事業、糸の森整備事業
		滋賀県内（林道横山岳線、上丹 生柏原線、国見線）	滋賀県他	H22～H26	291,000	フォレストコミュニティ総合整備事業（森林基幹道整備）
		滋賀県内（林道佐慶比線、七々 頭ヶ岳線、上の平線、大吉寺 線）	〃	H22～H26	125,000	育成林整備事業（森林管理道整備、 林業専用道整備、森林施設道整備）
	治山事業	滋賀県内	滋賀県	H22～H26	1,659,000	予防治山事業、山地治山事業、防災 林整備事業、共生保安林整備事業、 地域防災対策総合治山事業
	うち全国防災			H23	(25,000)	予防治山事業
	農業用水保全の 森づくり事業	滋賀県内	市町 森林組合等	H22～H26	122,000	保全松林緊急保護整備事業、被害地 等森林整備事業、環境林整備事業
	漁場保全の森づ くり事業	滋賀県内	滋賀県他	H22～H26	511,000	奥地保安林保全緊急対策事業、保安 林改良事業、
	合計 (全体事業費)				3,630,000	
	②関連事業	(千円)				
	事業名	地区名	事業実施主体	工 期	総事業費	主な事業内容等
	森林整備事業	滋賀県内（林道横山岳線、上丹 生柏原線、御池線、滝谷武奈 線）	滋賀県、 東近江市、 米原市	H23～H24	333,000	フォレストコミュニティ総合整備事業（森林基幹道整備）
		滋賀県内（林道上の平線）	甲賀市	H23～H24	14,000	流域育成林整備事業（林道開設）
		滋賀県内（林道鳥越線、辺谷線）	長浜市 東近江市	H23～H24	26,000	林道改良事業（林道改良、法面保 全）
	治山事業	滋賀県内	滋賀県	H23～H24	451,000	予防治山事業、地域防災対策総合治 山事業、共生保安林整備事業
	農業用水保全の 森づくり事業	滋賀県内	市町 森林組合等	H23～H24	17,000	保全松林緊急保護整備事業、被害地 等森林整備事業、環境林整備事業
	漁場保全の森づ くり事業	滋賀県内	滋賀県他	H23～H24	396,000	奥地保安林保全緊急対策事業
	合計 (全体事業費)				1,237,000	

※定量的指標については、県下すべての事業を対象とする

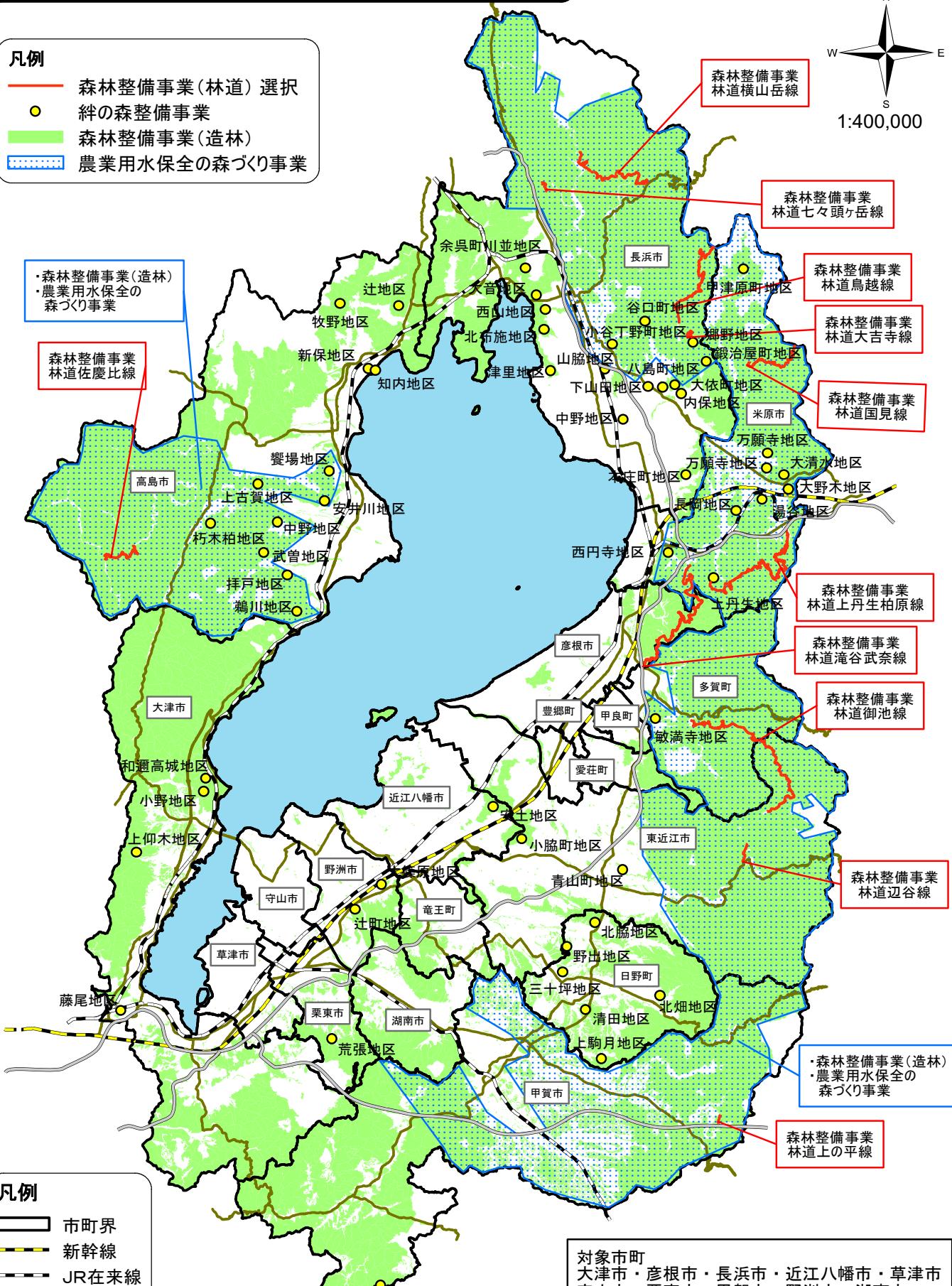
滋賀県森林地域整備計画対象地域図
(森林整備事業・農業用水保全の森づくり事業)

滋賀県



凡例

- 森林整備事業(林道)選択
- 紺の森整備事業
- 森林整備事業(造林)
- 農業用水保全の森づくり事業

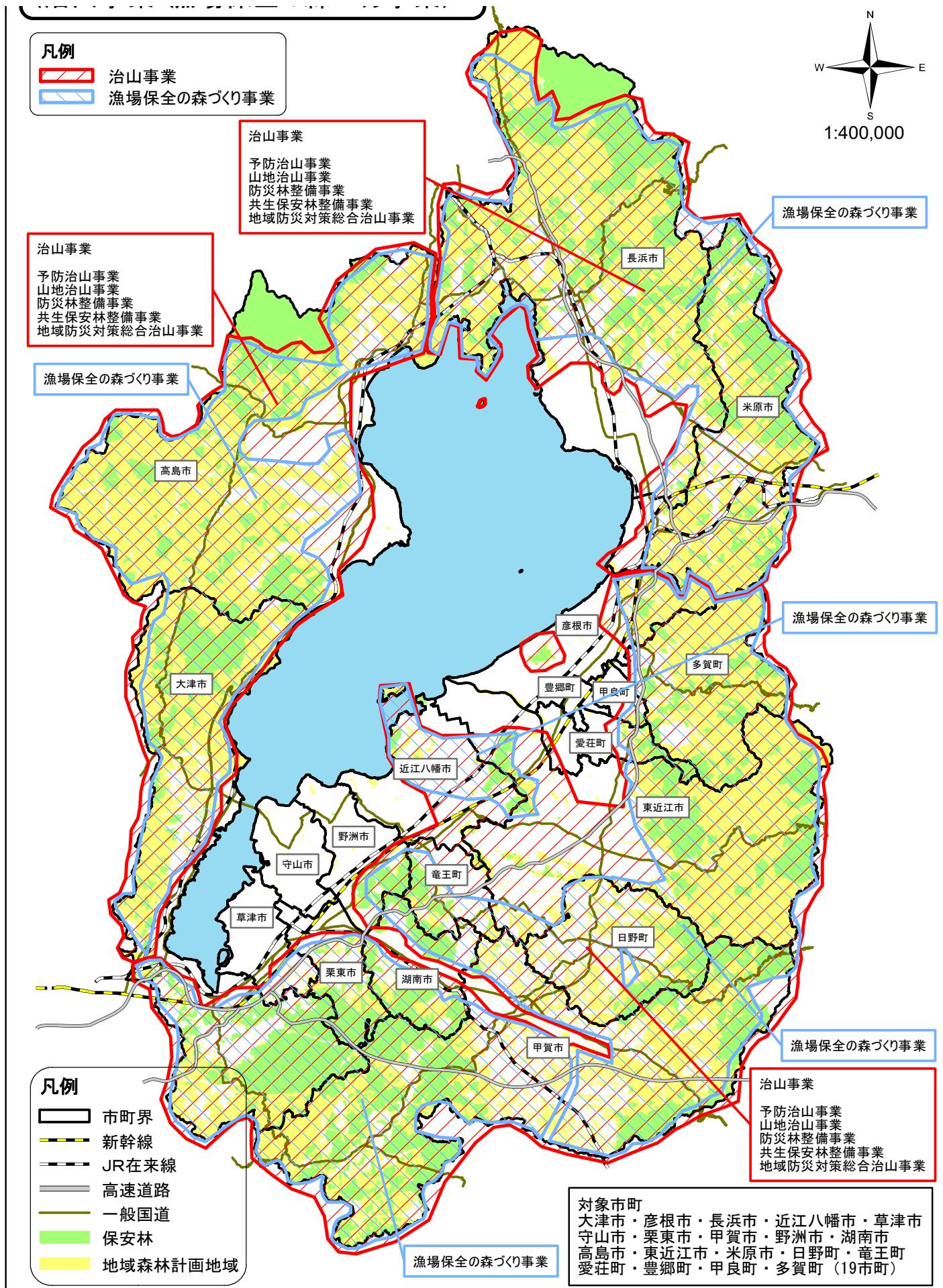


凡例

- 市町界 (Municipal Boundary)
- 新幹線 (Shinkansen)
- JR在来線 (JR Local Line)
- 高速道路 (Expressway)
- 一般国道 (General National Highway)

対象市町

大津市・彦根市・長浜市・近江八幡市・草津市
守山市・栗東市・甲賀市・野洲市・湖南市
高島市・東近江市・米原市・日野町・竜王町
愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町 (19市町)



農山漁村地域整備計画事前評価結果 平成26年 3月25日

計画の概要	計画の名称 琵琶湖と人々の暮らしを支える森林整備計画
	計画策定主体 滋賀県
	対象市町村 大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市 高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町（19市町）
	計画の期間 平成22年度～平成26年度（5ヶ年間）
	計画の目標 滋賀県の森林は県土面積の約2分の1を占め、水源涵養や県土の保全をはじめ二酸化炭素の吸収源など多面的機能を有し、県民の暮らしになくてはならないものです。 しかし、長引く木材価格の低迷や不在村所有者の増加などから、農・漁業用水などの水源地域において適切に手入れが行われない森林が目立つようになっています。一方、人工林が成熟し10年後には10歳級以上の人工林面積が現在の1.7倍に達するなど、今後木材資源が飛躍的に増加する見込みです。 そのために、森林の多面的機能を十全に發揮させるような森林整備に努め、人工林では環境に配慮しながら木材資源の循環利用を目指し地域の実情に応じた効率的・効果的な森林整備を推進します。
	定量的指標 ・保安林内の保安施設整備割合 57%から61% ・除間伐等を必要とする人工林に対する整備割合 65%から80% ・県産材の素材生産量 32,000m ³ から59,000m ³

評価	評価項目	評価の視点	判定
	目標の妥当性	森林整備保全事業計画に定める事業の目標と整合性がとれていること	○
		琵琶湖森林づくり基本計画目標と整合性がとれていること	○
		地域の課題に適切に対応する目標となっていること	○
	整備計画の効果・効率性	整備計画の目標と整合性がとれる定量的指標となっていること	○
		定量的指標と事業内容の整合性が確保されていること	○
		事後評価ができる適切な指標となっていること	○
	整備計画の実現可能性	地形、地質、地理状況等からみて、個別の事業が技術的に可能であること	○
		地域関係者等から同意又は理解を得られていること	○

評価結果	評価I 事業を実施	[評価基準] [評価I]は全項目に○印がついている
	評価II 計画の見直し	[評価II]は1項目でも×印がついている